

女性の転職は10年で約5倍に増加し、賃金も上昇 ブランクがあっても転職実現。L字カーブ解消の期待 正社員のブランク期間の経験が評価されるケースも

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘）は、女性の転職について、転職支援サービス『リクルートエージェント』のデータと実際の転職事例から動向をまとめましたので、お知らせいたします。出産・育児等を理由に一度仕事を辞めた正社員の方で、専業主婦として家事・育児に取り組んできた方や、パートや契約・派遣社員で就業していた方が正社員に転職する兆しをまとめています。

解説：正社員の経験ではなくても、「頑張ったこと」を棚卸しすることで機会につながる

HR エージェント Division カスタマーサービス統括部長 熊本 優子



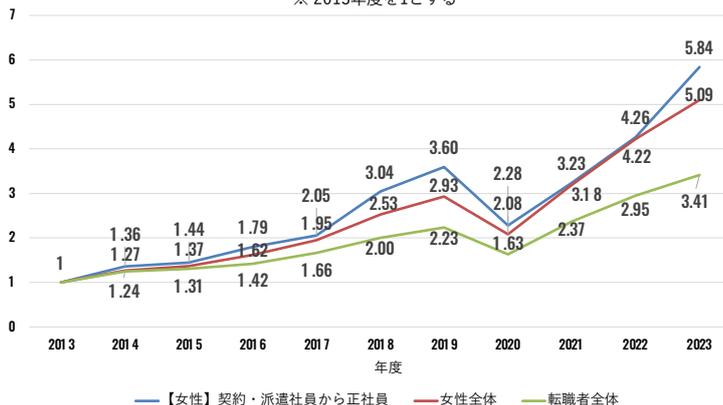
働く時間や場所に制約がある方や正社員のブランク期間がある方が正社員に転職するケースが増えています。転職者の個々の事情に合わせて労働時間や勤務場所を柔軟に変更したり、家事・育児経験をビジネススキルに転用できると考えたりする企業が出てきています。これらは10年前では非常に珍しい事例でしたが、人手不足が加速していく中でキャリア採用に変化の兆しが表れています。正規雇用の経験ではないとしても、その期間で自分なりに「頑張ったこと」を棚卸しし、ビジネスに生かせるスキルに言語化することで正社員への転職を実現した事例が生まれています。日々ご相談をお受けしている中で、ブランクがあるから自信がない・特筆するスキルはないとおっしゃる方が多いと感じますが、スキルや強みを見つけるためには「他人と比較して自分ができること」ではなく「自分が力を入れたこと、頑張れたこと」からひもとき言語化をサポートしていくと、棚卸しが進む傾向があります。

また、転職により賃金が1割以上増加した女性は40%を超えており、転職で賃金アップを実現できる方も増え、求職者にとって機会が広がっている傾向が強まっています。

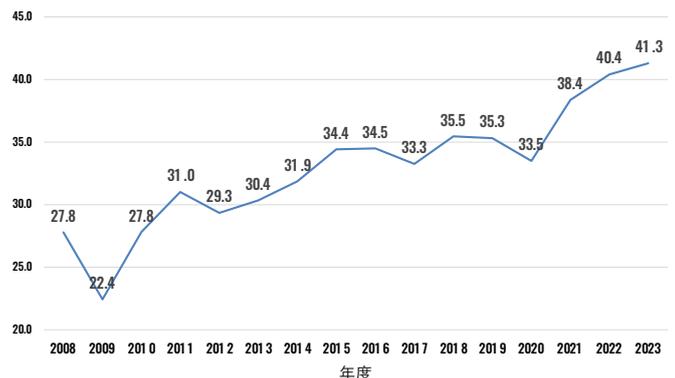
女性の転職は増加。正社員以外の雇用形態から正社員への転職も増加傾向。賃金も上昇傾向

『リクルートエージェント』における女性の転職者数は、2023年度は2013年度の5.09倍に伸長している。全体の転職者数推移と比較しても伸び率は高く、10年で女性の転職が加速していると言える。また、契約社員や派遣社員から正社員へ転職している女性は約6倍になっており、内部登用による正社員転換だけではなく、転職で雇用形態を変えている様子が見えてくる。

『リクルートエージェント』における転職者数の推移
※ 2013年度を1とする



『リクルートエージェント』における
転職時に賃金が1割以上増加した女性の割合の推移



制度が整ってきたこともあり、出産後に離職せずに働き続ける女性は着実に増え、M字カーブ（女性の労働力率が20代後半～30代前半で下降する傾向）は解消されつつあると言われている。しかし現在では労働力率は改善しても、正規雇用比率が20代後半をピークに下降しているL字カーブの課題があると言われており、正社員へ転職する女性が増えている点は、L字カーブの解消の兆しとも言える可能性がある。

また、2023年度には女性転職者の41.3%が転職時に賃金が1割以上増加している。外部労働市場に出た場合、賃金が上がる傾向があり、近年その割合は右肩上がりになっている。人手不足を背景とした採用ニーズの高まりに加え、これまで培ってきた経験やスキルが外部労働市場で適正に評価されて、賃金アップを実現できるケースが増えている。

実際の転職事例：正社員の経験ではなくても、「頑張ったこと」を言語化し転職へ

今まで、アルバイト・パートや派遣、専業主婦・主夫の期間の経験は、ビジネスに生かせる経験として評価されにくい傾向にあった。しかし近年、一部の企業ではこれらの期間の経験も評価し、採用に至るケースも少しずつ出始めている。

① 30代前半女性（首都圏）

産育休で4年間のブランク、契約社員・パート・派遣社員経験を経て正社員で営業職へ転職

- 経歴：契約社員として事務職1年、その後産育休で4年間仕事を離れ、2022年にパートとして事務職に復職。2024年からは派遣社員として営業事務に従事。
- 転職先：IT企業のシステム営業職（正社員）
- 転職理由：キャリアアップし収入も増やしていきたい。同じ業務を続けておりスキルが身に付かないと思い、正社員登用も難しそうな状況から転職を考えた。転職を機に、専門性を身に付け、子どもを大学まで育てたいと思った。
- 必須条件：お一人での子育てのため18時前後までの就労が条件
- 企業からの評価ポイント：意欲の高さとPCスキル。企業情報も非常に深く調べ、もし入社できたら何を勉強したらいいかもご自身で考えITパスポート取得にチャレンジされるなど行動もされており、行動していたからこそ熱意もしっかり伝わった。また、事務職での経験と努力でPCスキルが高かったところも評価された。
- 年収：約70万円のアップ
- 担当キャリアアドバイザーから見た転職活動のポイント

ご相談いただいた当初は、正社員での就業経験がないことによる不安なお気持ちで、ご自身が努力してこられたことをスキルとして言語化することは難しいとお感じになられていた。しかし、努力されるお人柄や行動は必ず企業に評価していただけるため、ご自身が頑張ってきたことを伺ってスキルの棚卸しをご支援。また、18時前後までの就労という条件は必須だったため、そのことも書類に記載し、書類通過率は下がる可能性はあるものの、条件の合う企業と一緒に探しながらご応募を進めていただいた。企業への面接の準備やお礼ににじみ出るご意欲もしっかり伝わった結果の内定だと感じる。

② 30代後半女性（信越地域）

約10年の正社員のブランクから、正社員で営業事務職へ転職

- 経歴：中小企業に就職、1年弱で転職。ご結婚を機に2社目を退職。

以来コンビニでパートとして11年勤務。在庫管理や新人トレーニングを担当し、研修にも積極的に参加され、接客コンテストでの入賞経験もあり。

- 転職先：メーカーの営業事務職（正社員）
- 転職理由：経済的に不安があり年収を上げたい。コンビニで正社員になる道もあったが、子どものために土日は休みを希望。正社員でその働き方をするのは難しいと感じ転職を決めた。また、成果を評価してもらえ環境でより裁量を持って働きたいと思っていた。
- 必須条件：9時～17時で働けること
- 企業からの評価ポイント：働く意欲と、明るくムードメーカーになってくれそうなお人柄。また、育児経験から得たマルチタスク能力や、仮説検証を日常的に行っている点も評価された。
- 年収：約80万円のアップ
- 担当キャリアアドバイザーから見た転職活動のポイント

ご本人必須条件とご経験から応募できる・応募したい求人が限られていたが、未経験で応募できる求人を中心に少しでも可能性がありそうならご応募していただきました。求人の必須条件を満たしていなかったとしても、エージェントを通して打診を実施。前向きなお人柄やパートでご勤務されていた中で頑張られていたことも推薦状に盛り込みアピールした結果、ご希望をかなえられるご縁につながった。

参考：家事・育児経験のビジネススキル転用の具体例

紹介した事例のように、一部の企業では家事・育児で培った経験をポータブルスキルとしてビジネスの場で生かせるものと考え、キャリア採用で参考にするケースが出てきている。どのようなスキルをどう言語化するのか、企業がそれをどのように評価するのかはケースバイケースのため一律に定義することは難しいが、例えば以下のように、自分の中で得意なことであれば、スキルとしてアピールする材料になり得る。

ポータブルスキル	家事・育児で培われる場面	ビジネスシーンでの生かし方
時間管理能力	家事や子どもの世話、自分の仕事を一日の中でうまく切り分け管理する。子どもが急な病気になった際には、計画を迅速に変更し優先順位を再設定する必要があり、臨機応変に対応しながら時間を管理する能力が身に付く。	プロジェクト管理やタスクの割り当て、締め切りの管理
マルチタスク対応力	家事と育児は同時進行が多く、子どもの面倒を見ながら買い物リストを作成するなど、複数のタスクを同時にこなす能力が身に付く。	複数のタスクを同時進行する
コミュニケーション能力	子どもに対して、年齢や理解度に合わせたコミュニケーションを取ることが必要になる。また子育てコミュニティではさまざまな意見交換や付き合いなどがあり、協調していくコミュニケーション能力が身に付く。	クライアントやチームメンバーとのコミュニケーション。円滑な交渉やプレゼンテーションに生かせる。サポート役として周囲をフォローしていく際の気配り
課題解決力	子どもの問題行動や何らかのトラブルに対して、原因を探り解決策を見つけるための思考力や仮説検証力が身に付く。	具体的なアクションプランを立て、問題を解決していく
周囲との連携力	地域のコミュニティでの交流や、子どもの学校行事を通して、多様な人間関係を築く機会がある。教育等に関連する情報を得るために、積極的に子育てコミュニティや教育関係者とのネットワークを結び、連携力が身に付く。	多様なステークホルダーからの情報収集や協力関係の構築

『リクルートエージェント』とは

1977年に創業した、人材紹介事業です。「一人ひとりの可能性に寄り添い、選択を支える」ことをミッションとし、一人ひとり異なる迷いや不安、希望に寄り添い、キャリアや仕事に悩む方が、より良い選択ができるよう支援することを大切にしています。「キャリアアドバイザー」が求人のご紹介や応募書類のアドバイス、面接サポートなどを行っています。北海道から九州まで全国20カ所（2024年4月時点）に拠点を設け、全国でサービスを展開しています。 <https://www.r-agent.com/>



本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>